

平成 30 年 2 月 13 日(火)、14 日(水)に広島県広島市のリーガロイヤルホテル広島において、結核予防会総裁秋篠宮妃殿下のご臨席を賜り、第 69 回結核予防全国大会が開催されました。

大会初日には、「結核の低まん延化を踏まえて、すすめよう、広げよう早期発見と支援の輪」をテーマに研鑽集会在開催され、基調講演とシンポジウムが行われました。

基調講演では、広島県における結核医療の変遷と全国に先駆けて展開された地域医療連携についてわかりやすく解説されました。続くシンポジウムでは、広島県における



#### 研鑽集会(総合討論)

結核医療や支援、地域・職域における対策、中国四国ブロックにおける結核予防婦人団体の活動について 5 名の演者の方々に、ご発表いただきました。

研鑽集会の後アトラクションとして、広島ジュニアマリンバアンサンブルによる「マリンバ演奏」が披露されました。

大会二日目の大会式典では、総裁秋篠宮妃殿下より結核予防事業に対する功績が顕著な方々に対し、秩父宮妃記念結核予防功労賞が授与され、保健看護功労賞 3 名、事業功労賞 1 団体、6 名の方々が受賞されました。

式典終了後、竹鶴酒造株式会社相談役の竹鶴壽夫氏による「広島の酒造りの歴史と国産ウイスキーの誕生」と題した特別講演が行われ、大会は盛会裏に全日程を終了しました。